施設基準

2025年7月1日現在

当院は厚生労働大臣の定める施設基準について以下の届出をおこなっています。

施設基準	算定開始日	内容
初診に係る特別の料金	平成28年4月1日	特定機能病院を紹介状なしで受診する患者さんの初診については、選定療養として5,000円以上の特別の料金の徴収を行う事とされています。 当院の初診に係る特別の料金は、13,200円です。
再診に係る特別の料金	平成28年4月1日	特定機能病院について、患者さん同意の上で文書による紹介を行ったにもかかわらず、紹介状なしで再診された場合には、選定療養として2,500円以上の特別の料金を徴収することとされています。当院の再診に係る特別の料金は、4,680円です。
予約に基づく診察に係る特別の料金	平成26年1月6日	当院の予約に基づく診察(特別診察室）に係る特別の料金は、11,000円です。
	平成26年4月1日	心理療法を伴う予約に基づく診療（精神神経科）の特別の料金は、4,400円です。
地域歯科診療支援病院歯科初診料	平成18年4月1日	歯科診療科に係る紹介率は３０％を超えています。
歯科外来診療環境体制加算	平成22年9月1日	当院では歯科医療に係る医療安全管理対策・感染対策の体制を整備しています。
情報通信機器を用いた診療	令和4年4月1日	情報通信機器を活用した診療を行うことが出来ます。
医療ＤＸ推進体制整備加算	令和6年6月1日	電子資格確認を行う体制を有しています。
歯科外来診療医療安全対策加算２	令和6年6月1日	安全な歯科医療環境の提供を行うにつき十分な装置・器具等を有しています。
歯科外来診療感染対策加算３	令和7年6月1日	歯科医師、歯科衛生士が１名以上配置されています。
特定機能病院入院基本料（一般）　7対1入院基本料	平成19年7月1日	一般病棟及び精神科病棟は入院患者7人に対し1人以上の看護職員を配置しています。 院内感染防止対策、医療安全管理対策、褥瘡対策に係る体制を整備しています。
特定機能病院入院基本料（精神）　7対1入院基本料	平成26年8月1日	
臨床研修病院入院診療加算　医科	平成16年4月1日	医科は研修医2.5人につき指導医1人以上、歯科は研修医2人につき指導医1人以上の指導医を配置し、指導医によるカルテ記載に関する指導・確認体制がとられ、臨床研修を行うための施設基準を満たしています。
臨床研修病院入院診療加算　歯科	平成18年4月1日	
救急医療管理加算	平成22年4月1日	休日・夜間における救急医療確保のための診療を行っています。
超急性期脳卒中加算	平成20年4月1日	専ら脳卒中の診断及び治療を担当した経験を10年以上有し、「脳梗塞rt-PA適正使用講習会」を受講した常勤の医師を1名以上配置しています。
妊産婦緊急搬送入院加算	平成20年4月1日	3名以上の常勤の医師と助産婦を産科に配置し、入院中のハイリスク分娩の対象となる妊産婦の妊娠・分娩管理を行っています。緊急の分娩に対応できる十分な体制・設備を有しています。 ※R2.4月～R3.3月分娩件数　960件　※常勤医師20名　助産婦61名
診療録管理体制加算１	令和7年2月1日	中央病歴室に専任の診療録管理責任者を配置し、法令に基づく診療録の管理、情報提供を行っています。
医師事務作業補助体制加算２（20対1）	令和7年5月1日	医師の負担軽減に向け、医師事務補助者を配置しています。
急性期看護補助体制加算　(25対1　看護補助者5割以上）	平成30年11月1日	一般病棟では入院患者25人に対し1人以上の看護補助者(見なし配置含む）を配置しており、必要時間数に対して50%を超える看護補助者を配置しています。
急性期看護補助体制加算 夜間100対1急性期看護補助体制加算	平成30年11月1日	一般病棟では入院患者100人に対し1人以上の夜間看護補助者を配置しています。
急性期看護補助体制加算 夜間看護体制加算	平成30年11月1日	夜間における看護業務の負担を軽減する取り組みを行っています。
急性期看護補助体制加算 看護補助体制充実加算２	令和7年4月1日	看護職員の負担の軽減及び処遇の改善を図るための看護業務の補助に係る十分な体制を確保しています
看護職員夜間配置加算（12対1　イ）	平成28年4月1日	一般病棟では夜間の看護職員は、入院患者12人に対し1人以上配置しています。
療養環境加算	平成14年5月1日	法令に定められた医師,看護要員を配置し,病床の面積（1床あたり平均8平方メートル以上）などの環境に関する基準を満たしています。
重症者等療養環境特別加算	平成13年10月1日	重症者等の容態を常時監視できる設備・構造上の配慮がなされた病床を有しています。
無菌治療室管理加算１、２	平成24年4月1日	当院は、自家発電装置を有し、滅菌水の供給が常時可能です。また、当該治療室の空気清浄度は常時ISOクラス6、7以上です。
放射線治療病室管理加算	令和4年4月1日	

緩和ケア診療加算	平成22年4月1日	専従の緩和ケアチームによる診療を行っています。
精神科身体合併症管理加算	平成25年10月1日	精神科病棟に専任の内科又は外科の医師を配置し、必要に応じて院内一般病床への受け入れ体制を有しています。
精神科リエゾンチーム加算	平成28年4月1日	精神科リエゾンチームによる診療を行っています。
摂食障害入院医療管理加算	平成22年4月1日	必要な専有設備を有し、経験を有する医師、臨床心理士、管理栄養士等が配置され必要な設備を有ししています。
栄養サポートチーム加算	平成26年4月1日	栄養管理に係る専門的知識を有した多職種からなる栄養サポートチーム」による診療を行っています。
医療安全対策加算１	平成18年4月1日	安全管理の指針、医療事故等の報告体制を整備し、医療安全管理者等で更生する専門の委員会による安全管理のための改善策の実施・指導や職員研修、患者相談を行っています。
感染対策向上加算１	令和4年4月1日	感染対策チームによる感染防止対策を行い、また、職員を対象にした研修を実施しています。厚生労働省の院内感染対策サーベイランス事業に参加しています。
指導強化加算	令和4年4月1日	地域の保険医療機関と合同の感染対策に関するカンファレンスを行うなどの連携をおこない、また、相互チェックを行っています。
抗菌薬適正使用体制加算	令和6年6月1日	抗菌薬の適正使用につき十分な実績を有しています。
患者サポート体制充実加算	平成24年4月1日	患者相談窓口を設置し、多職種の専任の相談員による患者サポート体制を整えています。
重症患者初期支援充実加算	令和7年6月1日	所定の研修を修了した社会福祉士が配置されております。
褥瘡ハイリスク患者ケア加算	平成23年4月1日	所定の研修を終了した褥瘡管理者による、褥瘡ハイリスク患者への褥瘡予防・管理を実施ししています。また、褥瘡対策のための指導や職員研修を行っています。
ハイリスク妊娠管理加算	平成20年4月1日	3名以上の常勤の医師と助産婦を産科に配置し、入院中のハイリスク分娩の対象となる妊産婦の妊娠・分娩管理を行っています。緊急の分娩に対応できる十分な体制・設備を有しています。 ※H31.1月～R1.12月分娩件数　1,007件 ※常勤医師21名　助産婦22名
ハイリスク分娩管理加算	平成18年4月1日	
脳波検査判断料１	令和2年10月1日	てんかんに係る診療を行うにつき十分な体制が整備しています。
呼吸ケアチーム加算	平成23年1月1日	経験を有する医師、看護師、臨床工学技士、理学療法士等による呼吸ケアチームにより人工呼吸器装着患者の管理・ケアの体制を有しています。
後発医薬品使用体制加算１	令和6年9月1日	後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用に積極的に取り組んでいます。
バイオ後続品使用体制加算	令和6年6月1日	バイオ後続品の使用に積極的に取り組んでいます。
病棟薬剤業務実施加算１	平成26年10月1日	病棟薬剤業務を行う専任の薬剤師を、一般病棟及び特定集中治療室に配置しています。
病棟薬剤業務実施加算２	平成28年4月1日	
データ提出加算２	平成24年10月1日	定められた様式により、入院患者及び外来患者データを厚生労働省へ提出しています。
入退院支援加算２	平成28年4月1日	入院患者の退院に係わる調整・支援に関する部門を設置し、退院調整部門に2年以上の退院調整に係る業務の経験を有する専従の看護師及び社会福祉士が退院調整に当たっています。
入退院支援加算/入院時支援加算	平成30年8月1日	入院前の外来で事前に患者情報を収集し入院中の生活をお伝えしています。
入退院支援加算/総合機能評価加算	令和2年4月1日	総合的な機能評価に係る適切な研修を終了した常勤の医師を配置しています。
せん妄ハイリスク患者ケア加算	令和4年11月1日	一般病棟において、全ての入院患者に対してせん妄のリスク因子の確認を行っております。
精神疾患診療体制加算	平成28年4月1日	身体合併症を有する精神疾患患者の転院の受入れや、、精神症状を伴う身体疾患や外傷のために救急搬送された患者の診療体制を整備しています。
精神科急性期医師配置加算２イ	平成28年6月1日	精神症状とともに身体疾患又は外傷を有する患者の入院医療体制を確保しています。
排尿自立支援加算	平成29年4月1日	排尿ケアチームを設置しており、下部尿路機能回復のための包括的ケアを実施しています。
地域医療体制確保加算	令和2年4月1日	救急搬送に係る実績を相当程有しており、病院勤務医の負担軽減及び処遇の改善に資する体制が整備されております。
救命救急入院料１（小児加算、充実度S加算、精神疾患診断治療初回加算）	平成23年2月1日	当院は東京都の救命救急センターに指定されています。
救命救急入院料４（小児加算、充実度S加算、精神疾患診断治療初回加算）	令和5年2月1日	当院は東京都の救命救急センターに指定されています。
特定集中治療室管理料１	令和6年11月1日	集中治療を行うために必要な専有設備を有し、専任の医師及び入院患者２人に対し１名の看護師を常時配置しています。

特定集中治療室管理料２	平成27年3月1日	集中治療を行うために必要な専有設備を有し、専任の医師及び入院患者２人に対し１名の看護師を常時配置しています。
特定集中治療室管理料４	平成27年3月1日	集中治療を行うために必要な専有設備を有し、専任の医師及び入院患者２人に対し１名の看護師を常時配置しています。
特定集中治療室管理料２，４／注１	令和6年1月1日	特定集中治療室に入院する患者について、関連学会と連携の上、適切な管理等を行っています。
特定集中治療室管理料２，４／小児加算	平成27年3月1日	集中治療を行うために必要な専有設備を有し、専任の医師及び入院患者２人に対し１名の看護師を常時配置しています。
特定集中治療室管理料２，４／早期離床・リハビリテーション加算	平成30年10月1日	早期離床・リハビリテーションチームによる早期離床の取組を行っています。
特定集中治療室管理料１/小児加算	令和6年11月1日	専任の小児科の医師が常時配置されています。
総合周産期特定集中治療室管理料	平成23年5月1日	周産期の集中治療を行うために必要な専有設備を有し、専任の医師及び入院患者3人に対し1名の看護師を常時配置したMFICU、NICUを設置しています。 当院は東京都の総合周産期母子医療センターに指定されています。
新生児治療回復室入院医療管理料	平成22年4月1日	集中的な医療を必要とする新生児に対する医療管理に必要な専有の設備を有し、専任の医師及び入院患者６人に対し看護師１人以上を常時配置しています。
小児入院医療管理料１	令和1年5月1日	当院は小児科の常勤の医師を20名以上配置しており、小児救急医療を行うにつき十分な体制が整備されている。
無菌治療管理加算２	令和5年10月1日	室内を無菌の状態に保つために適切な体制を整備されている。
養育支援体制加算	令和7年6月1日	当該保険医療機関内に、虐待等不適切な養育が疑われる小児患者への支援に係るチームが設置されています。
看護補助体制充実加算	令和7年4月1日	看護職員の負担の軽減及び処遇の改善を図るための看護業務の補助に係る十分な体制を確保しています。
看護職員処遇改善評価料72	令和4年11月1日	地域で新型コロナウイルス感染症に係る医療など一定の役割を担う保健医療機関に勤務する保健師、助産師、看護師及び准看護師の賃金を改善するための措置を実施することを評価したものです。
歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	令和2年4月1日	当該療養を行うにつき、十分な経験を有する常勤の歯科医師、歯科衛生士等により、治療前、治療中及び治療後における当該患者の全身状態を管理できる体制が整備されている。常勤の歯科医師及び常勤の歯科衛生士又は看護師が1名以上配置されており、当該患者の全身状態の管理を行うにつき十分な装置・器具を有している。
ウイルス疾患指導料　注2	令和7年1月1日	HIV感染症の診療の経験を有する医師、看護師等が配置されています。
外来栄養食事指導料の注2	令和3年7月1日	外来でのがんの化学療法が主流となったため、外来化学療法を実施しているがん患者に対して専門的な知識を有した管理栄養士がきめ細やかな栄養管理を患者さんの状態に合わせて継続的に実施できる体制を整えています。
外来栄養食事指導料の注3	令和4年4月1日	
心臓ペースメーカー指導管理料 植込型除細動器移行期加算、遠隔モニタリング加算	平成26年4月1日	植込型除細動器移植術,植込型除細動器交換術等の届出を行なっています。
高度難聴指導管理料	平成6年12月1日	人工内耳埋込術の術後患者さんの診療を積極的に行なっています。
糖尿病合併症管理料	平成20年4月1日	糖尿病治療及び糖尿病足病変の診療に従事した経験を有する医師、適切な研修を受講した看護師が指導しています。
がん性疼痛緩和指導管理料	平成22年4月1日	緩和ケアの経験を有する医師が配置されています。
難治性がん性疼痛緩和指導管理加算	令和6年6月1日	がん患者に対するがん性疼痛の症状緩和を目的とした放射線治療及び神経ブロックを実施する体制及び実績を有しています。
がん患者指導管理料イ、ロ、ハ、ニ	平成26年4月1日	緩和ケア研修を受講した医師と所定の研修を終了し5年以上のがん患者のケアの経験を有する専任の看護師、薬剤師を配置しています。
外来緩和ケア管理料	平成24年4月1日	専従の緩和ケアチームによる診療を行っています。
移植後患者指導管理料	平成24年4月1日	移植に係る専門外来を設置し、専門の研修を終了した移植コーディネーターによる患者支援を行っています。
糖尿病透析予防指導管理料	平成24年4月1日	医師、看護師、管理栄養士などによるチームで糖尿病透析予防の指導を行っています。
小児運動器疾患指導管理料	令和2年4月1日	当該療養を行うにつきに必要な体制が整備されております。
乳腺炎重症化予防ケア・指導料	平成30年4月1日	医師、助産師により乳腺炎のケア・指導を行っています。
婦人科特定疾患治療管理料	令和2年4月1日	当該療養を行うにつきに必要な体制が整備されております。
腎代替療法指導管理料	令和3年8月1日	移植を含めた腎代替療法に関する情報提供を行える体制が整備されております。

一般不妊治療管理料	令和4年4月1日	
生殖補助医療管理料1	令和4年4月1日	
二次性骨折予防継続管理料１、３	令和4年12月1日	骨粗鬆症の診療を担当する専任の常勤医師を配置しています。
下肢創傷処置管理料	令和5年6月1日	
院内トリアージ実施料	平成24年6月1日	院内トリアージ基準に基づいて専任の医師又は専任の看護師により患者の来院後速やかに患者の状態を評価し、患者の緊急度区分に応じて診療の優先順位付けを行う院内トリアージを行っています。
外来リハビリテーション診療料	平成24年4月1日	リハビリテーションの医師を配置し、緊急時の体制が取れています。
外来放射線照射診療料	平成24年4月1日	専任の医師、専従の放射線技師・看護師を配置しています。
外来腫瘍化学療法診療料1	令和4年4月1日	
連携充実加算	令和4年4月1日	
ニコチン依存症管理料	平成22年4月1日	当院は敷地内禁煙となっています。禁煙治療の経験を有する医師、専任の看護師が配置されています。
がん治療連携計画策定料	平成22年7月1日	地域連携診療計画に沿っって地域の保険医療機関連したがん治療の提供を実施しています。
がん治療連携管理料	平成24年4月1日	当院は「がん診療連携拠点病院」指定病院です。（平成20年2月8日指定）
肝炎インターフェロン治療計画料	平成22年4月1日	専門的知識を有する医師により診断と治療方針の決定され、インターフェロン等の抗ウイルス療法を適切の実施できる体制を有しています。
外来排尿自立指導料	平成28年5月1日	専門的知識を有する排尿ケアチームによる自立指導を行っています。
ハイリスク妊産婦連携指導料２	平成30年4月1日	ハイリスク妊産婦に対し、連携したケア・指導を行っています。
薬剤管理指導料	平成9年6月1日	医薬品情報室を有し、薬剤師が入院患者ごとに作成した薬剤管理記録により、適切な薬剤指導を行っています。
医療機器安全管理料（１）、（２）、（歯科）	平成20年4月1日	医療機器安全管理者、常勤の臨床工学技士を1名以上を配置し、医療機器の保守点検を行っています。また、放射線治療を専ら担当する経験を有する常勤の医師及び放射線治療に係る医療機器の安全管理、保守点検及び安全使用のための精度管理を行う技術者を配置しています。
救急患者連携搬送料	令和6年9月1日	連携する医療機関とあらかじめ協議を行い、救急患者の転院体制を整備しています。
在宅植込型補助人工心臓（非拍動流型）指導管理料	平成28年4月1日	植込型補助人工心臓（非拍動流型）に係る指導管理の認定を受けています。
在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	平成30年4月1日	交流電場腫瘍治療システムに係る指導管理の認定を受けています。
在宅経肛門的自己洗腸指導管理料	令和2年4月1日	脊髄障害を原因とする排便障害を含めた大腸肛門疾患の診療について5年以上の経験を有する常勤の医師が配置されており、看護について3年以上の経験を有する看護師を配置しております。
持続血糖測定器加算	平成26年4月1日	糖尿病の治療に関し、専門の知識及び少なくとも5年以上の経験を有する常勤の医師を2名以上配置しています。
造血器腫瘍遺伝子検査	平成8年5月1日	当院は検体検査管理を行うために十分な体制を整備し、また臨床検査を専ら担当する常勤の医師を配置しています。
遺伝学的検査	平成28年4月1日	遺伝カウンセリングを要する診療に係る経験を3年以上有する常勤の医師が1名以上配置され、遺伝カウンセリングを年間20例以上実施しています。
流産検体を用いた絨毛染色体検査（染色体検査　注2）	令和4年4月1日	
骨髄微小残存病変量測定	令和1年8月1日	当該検査を行うにつき必要な医師が配置されています。また、日本小児血液・がん学会による認定を受けている衛生検査所に委託しています。
ＢＲＣＡ１／２遺伝子検査	令和2年4月1日	化学療法の経験を5年以上有する常勤医師又は産婦人科及び婦人科腫瘍の専門的な研修の経験を合わせて6年以上有する常勤医師が1名以上配置されております。
がんゲノムプロファイリング検査	令和2年4月1日	がんゲノム医療中核拠点病院、がんゲノム医療連携病院に該当し、がんゲノム検査を行える施設となります。
先天性代謝異常症検査	令和2年4月1日	小児科を標榜しており、児童福祉法第19条の3第1項に規定する指定医である常勤医師が1名以上配置ます。
抗アデノ随伴ウイルス9型（AAV9）抗体	令和6年9月1日	関連学会の定める適正使用指針において定められた実施施設基準に準じ、当該検査を行うにつき十分な体制を整備しています。
精密触覚機能検査	平成30年8月1日	所定の研修を修了した歯科医師が専用機器を用いて検査を実施しています。
抗ＨＬＡ抗体（スクリーニング検査）及び抗ＨＬＡ抗体（抗体特異性同定検査）	平成30年4月1日	臓器移植後の状態把握のための検査を実施しています。

ＨＰＶ核酸検出及びＨＰＶ核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）	平成29年7月1日	当院は検体検査管理を行うために十分な体制を整備し、また臨床検査を専ら担当する常勤の医師を配置しています。
ウイルス・細菌核酸多項目同時検出	令和3年2月1日	多項目に対して遺伝子検査を行う事により短時間で検査結果を出せます。
細菌核酸・薬剤耐性遺伝子同時検出	令和3年2月1日	遺伝子検査で敗血症の原因菌を特定することが出来ます。
ウイルス・細菌核酸多項目同時検出（髄液）	令和6年6月1日	検査を行うにつき十分な体制を整備し、感染症に係る診療を専ら担当する常勤の医師を配置しています。
検体検査管理加算Ⅰ	平成12年4月1日	当院は検体検査管理を行うために十分な体制を整備し、また臨床検査を専ら担当する常勤の医師を配置しています。
検体検査管理加算Ⅳ	平成22年4月1日	
国際標準検査管理加算	平成28年4月1日	国際標準化機構が定めた臨床検査に関する国際規格に基づく技術能力（ISO 15189）の認定を受けています。
遺伝カウンセリング加算	平成20年4月1日	遺伝カウンセリングを要する診療に係る経験を３年以上有する常勤の医師が1名以上配置され、遺伝カウンセリングを年間20例以上実施しています。
遺伝性腫瘍カウンセリング加算	令和2年4月1日	がんゲノム医療中核拠点病院、がんゲノム医療拠点病院、又はがんゲノム医療連携病院に該当します。
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	平成12年4月1日	当該検査を行うために十分な経験を有する常勤の医師を配置しています。また、緊急事態に対応し、当該療養につき必要な体制を整備しています。
植込型心電図検査	平成22年4月1日	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術 等の施設基準の届出を行っています。
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	平成24年4月1日	当該検査を行うために十分な経験を有する常勤の医師を配置しています。また、緊急事態に対応し、当該療養につき必要な体制が整備され、倫理委員会を設置しています。
胎児心エコー法	平成22年4月1日	
ヘッドアップティルト試験	平成24年4月1日	
人工膵臓検査・人工膵臓療法	平成21年2月1日	
皮下連続式グルコース測定	平成22年4月1日	当該検査を行うために十分な経験を有する常勤の医師を2名以上配置し、持続皮下インスリン注入療法を行っています。
長期継続頭蓋内脳波検査	平成12年4月1日	当該検査・診断ために十分な装置・器具を有し、これに必要な経験を有する常勤の医師を配置しています。
長期脳波ビデオ同時記録検査	令和2年4月1日	
光トポグラフィー・抑うつ症状の鑑別診断の補助に使用するもの	平成26年4月1日	
脳磁図	平成16年4月1日	
筋電図検査４　単線維筋電図	令和2年4月1日	
神経学的検査	平成20年4月1日	
補聴器適合検査	平成16年9月1日	
黄斑局所網膜電図、全視野精密網膜電図	令和2年4月1日	
ロービジョン検査判断料	平成24年4月1日	
小児食物アレルギー負荷検査	令和7年7月1日	10年以上の小児食物アレルギーの診断及び治療の経験を有する小児科の常勤医師を配置しています。
内服・点滴誘発試験	平成22年4月1日	当該検査を行うために10年以上の経験を有する常勤の医師を配置しています。また、緊急事態に対応し、当該療養につき必要な体制を整備しています。
センチネルリンパ節生検（乳がんに係るものに限る）	平成22年4月1日	当該検査を行うために5年以上の経験を有する常勤の医師、麻酔科標榜医、病理医を配置しています。
経頸静脈的肝生検	令和6年6月1日	当該検査を行うために十分な体制を整備し、経験を有する常勤の医師を配置しています。
前立腺針生検法（MRI撮影及び超音波検査融合画像）	令和4年4月1日	
CT透視下気管支鏡検査加算	平成24年4月1日	当該検査を行うために必要な機器・設備を有し、経験を有する常勤の医師を配置しています。
画像診断管理加算１、４	平成31年1月1日	画像診断管理を行うために十分な体制を整備し、経験を有する常勤の医師を配置しています。

ポジトロン断層撮影	平成18年4月1日	当該断層撮影及び断層複合撮影を行うために十分な機器、施設を有し、必要な資格・経験を有する常勤医師、放射線技師を配置しています。
ポジトロン断層撮影（アミロイドＰＥＴイメージング剤を用いた場合に限る。）	令和6年6月1日	
ポジトロン断層撮影・コンピューター断層複合撮影	平成19年2月1日	
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影（アミロイドＰＥＴイメージング剤を用いた場合に限る。）	令和6年6月1日	
ＣＴ撮影及びＭＲＩ撮影	平成18年4月1日	マルチスライス型（16列、64列以上）のCT機器及び1.5テスラ、3テスラ以上のMRI機器を使用しています。
冠動脈ＣＴ撮影加算	平成20年4月1日	
外傷全身ＣＴ加算	平成23年12月1日	
心臓ＭＲＩ撮影加算	平成20年4月1日	
乳房ＭＲＩ撮影加算	平成28年4月1日	
小児鎮静下ＭＲＩ撮影加算	平成30年6月1日	
頭部ＭＲＩ撮影加算	平成31年1月1日	
全身ＭＲＩ撮影加算	令和2年4月1日	
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	平成22年4月1日	化学療法の経験を5年以上有する専任の常勤医師が1名以上勤務しています。
外来化学療法加算1	平成22年5月1日	当該療法を行うために必要な機器、専用施設を有し、化学療法の経験を5年以上有する専任の常勤医師,常勤看護師、常勤薬剤師を配置しています。
連携充実加算	令和3年6月1日	当該療法を行うために必要な機器、専用施設を有し、化学療法の経験を5年以上有する専任の常勤医師,常勤看護師、常勤薬剤師を配置しています。
無菌製剤処理料１、２	平成20年4月1日	無菌製剤処理を行うための専用の部屋、設備を有しています。
心大血管疾患リハビリテーション料（Ｉ）/初期加算	平成19年11月1日	精神科専門療法、リハビリテーション等に関する専用の設備・機械・器具等を有し、専任の常勤医師及び専従する常勤の理学療法士・作業療法士・看護師・言語聴覚士等を配置しています。
脳血管疾患等リハビリテーション料（Ｉ）/初期加算	平成18年4月1日	
運動器リハビリテーション料（Ｉ）/初期加算	平成22年4月1日	
呼吸器リハビリテーション料（Ｉ）/初期加算	平成18年4月1日	
がん患者リハビリテーション料	平成23年2月1日	所定の研修を終了した専任の医師、専従する常勤の理学療法士・作業療法士を配置しています。
歯科口腔リハビリテーション料２	平成26年4月1日	当該診療科に係る5年以上の経験及び当該療養に係る3年以上の経験を有する歯科医師を配置しています。
通院・在宅精神療法　児童思春期精神科専門管理加算	平成28年4月1日	児童思春期精神科の専門の医師を配置しています。
通院・在宅精神療法　療養生活継続支援加算	令和6年6月1日	療養生活を継続するための支援を行うにつき十分な体制が整備されています。
通院・在宅精神療法　児童思春期支援指導加算	令和6年11月1日	研修を修了した医師、精神保健福祉士、公認心理師を配置しています。
認知療法・認知行動療法１	平成26年9月1日	専任の認知療法・認知行動療法に習熟した医師が１名以上勤務しています。
精神科作業療法	平成8年6月1日	精神科専門療法、リハビリテーション等に関する専用の設備・機械・器具等を有し、専任の常勤医師及び専従する常勤の理学療法士・作業療法士・看護師・言語聴覚士等を配置しています。
精神科ショート・ケア　（小規模なもの）	平成28年7月1日	
精神科ショート・ケア　（大規模なもの）	令和2年4月1日	
精神科デイ・ケア（大規模なもの）	平成5年4月1日	
抗精神病特定薬剤治療指導管理料（治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る）	平成25年8月1日	十分な経験を有する常勤医師と常勤薬剤師を配置しています。
医療保護入院等診療料	平成16年4月1日	常勤の精神保健指定医を配置し、患者様の行動制限を必要最小限にするための必要な委員会を設置しています。
エタノール局所注入（甲状腺に対するもの）	平成18年10月1日	甲状腺治療の5年以上の経験のある医師を配置し当該治療に必要な機器を有しています。
口腔粘膜処置	平成30年4月1日	レーザー機器を用いた手術・治療を実施しています。
人工腎臓・慢性維持透析を行った場合１	平成30年4月1日	透析用監視装置の台数が26台未満の体制を有しています。

人工腎臓・導入期加算３	令和5年2月1日	腎代替療法についての患者への説明の実施状況並びに腹膜透析及び腎移植に係る実績を有しています。
人工腎臓・下肢末梢動脈疾患指導管理加算	平成31年3月1日	当院では慢性維持透析を実施している全ての患者に対し、下肢末梢動脈疾患に関するリスク評価、指導管理等を行っています。
人工腎臓・透析液水質確保加算	平成30年4月1日	専任の医師、臨床工学技士を配置し、月1回以上水質検査を実施し関連学会から示されている基準を満たした血液透析濾過用の置換液を作製する体制を有しています。
難治性高コレステロール血症に伴う重度尿たん白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法（血漿交換療法）	令和4年4月1日	
移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法（血漿交換療法）	令和4年4月1日	
ストーマ合併症加算	令和6年6月1日	ストーマ合併症を有する患者に対するストーマ処置を行うにつき必要な体制が整備し、排泄ケア関連領域における適切な研修を修了した常勤の看護師が配置されています。
一酸化窒素吸入療法	平成22年4月1日	当院は総合周産期特定集中治療室管理料の届出を行い、体制を整備しています。
磁気による膀胱等刺激法	平成26年4月1日	5年以上の泌尿器科の経験を有する常勤の医師が2名上配置されています。
頭頸部悪性腫瘍光線力学療法（歯科）	令和6年6月1日	頭頸部癌の治療に係る専門の知識及び5年以上の経験を有する常勤の医師が1名以上配置されています。
処置の休日加算１、時間外加算１及び深夜加算１（医科・歯科）	平成26年8月1日	予定手術前の当直等の免除、夜間・休日・時間外の緊急手術への手当支給等、医師の負担軽減に向けて実施しています。
手術の休日加算１、時間外加算１及び深夜加算１（医科・歯科）	平成26年8月1日	
皮膚悪性腫瘍切除術（悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る）	平成22年4月1日	当該術式に関し経験を有する常勤の医師及び病理医、検査技師、放射線技師等を配置し、必要な院内検査等を常時実施可能な機器、設備を有しています。
組織拡張器による再建手術（一連につき） 乳房再建術の場合	平成25年8月1日	
四肢・躯幹軟部悪性腫瘍摘出術	令和2年4月1日	
四肢・躯幹軟部悪性腫瘍摘出術　処理骨再建加算	令和2年4月1日	
緊急整復固定加算及び緊急挿入加算	令和4年12月1日	二次性骨折予防継続管理料１の届出を行っており、大腿骨金部骨折患者に対する診療体制を有しています。
骨悪性腫瘍、類骨骨腫及び四肢軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法	令和6年6月1日	
骨移植術（軟骨移植術を含む。）　３ 同種骨移植（非生体）イ同種骨移植（特殊なもの）	平成28年6月1日	
骨移植術（軟骨移植術を含む。） 自家培養軟骨移植術	平成25年5月1日	
人工股関節置換術（手術支援装置を用いるもの）	令和6年6月1日	
後縦靭帯骨化症手術（前方進入）	平成30年4月1日	
椎間板内酵素注入療法	令和2年4月1日	
腫瘍脊椎骨全摘術	令和2年7月1日	
緊急穿頭血腫除去術	令和6年6月1日	
脳腫瘍覚醒下マッピング加算	令和6年1月1日	日本脳神経外科学会・日本Awake Surgery学会の定める覚醒下脳手術施設に認定されています。
内視鏡下脳腫瘍生検術	令和4年4月1日	
内視鏡下脳腫瘍摘出術	令和4年4月1日	
脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	平成12年8月1日	
癒着性脊髄くも膜炎手術（脊髄くも膜剥離操作を行うもの）	令和4年6月1日	
仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術（過活動膀胱）	令和1年7月1日	
角結膜悪性腫瘍切除術	令和4年4月1日	
角膜移植術	令和2年4月1日	

角膜移植術　内皮移植加算	令和2年4月1日	
羊膜移植術	令和4年3月1日	
緑内障手術・流出路再建術（眼内法）	令和4年4月1日	
緑内障手術・緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの）	平成26年4月1日	
緑内障手術（水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術）	平成30年4月1日	
濾過胞再建術（needle法）（緑内障手術）	令和4年4月1日	
網膜再建術	平成26年4月1日	
植込型骨導補聴器（直接振動型）植込術	令和4年4月1日	
経外耳道的内視鏡下鼓室形成術	令和4年4月1日	
人工内耳植込術	平成6年12月1日	
人工中耳植込術	平成30年4月1日	
植込型骨導補聴器移植術・交換術	平成25年2月1日	
内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ｖ型（拡大副鼻腔手術）	平成26年4月1日	
経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術	令和4年4月1日	
鏡視下咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。）	令和2年4月1日	
鏡視下咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。）（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	令和5年4月1日	
内喉頭筋内注入術（ボツリヌス毒素によるもの）	令和4年4月1日	
鏡視下喉頭悪性腫瘍手術１　切除	令和2年4月1日	
鏡視下喉頭悪性腫瘍手術２　全摘	令和2年4月1日	
鏡視下喉頭悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	令和5年4月1日	
喉頭形成手術（甲状軟骨固定用器具を用いたもの）	平成30年7月1日	
上顎骨形成術（骨移動を伴う場合）（歯科診療にかかわるもの）下顎骨形成術（骨移動を伴う場合）（歯科診療にかかわるもの）	平成24年4月1日	
内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）、内視鏡下副甲状腺（上皮小体）腺腫過形成手術	令和4年1月1日	
頭頸部悪性腫瘍光線力学療法	令和4年12月1日	
乳がんセンチネルリンパ節加算１、２	平成22年4月1日	
乳腺悪性腫瘍手術（乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの）及び乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴うもの））	令和1年8月1日	
ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）	平成25年8月1日	
胸腔鏡下拡大胸腺摘出術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	令和3年11月1日	
胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	令和2年1月1日	
気管支バルブ留置術	令和6年6月1日	
胸腔鏡下肺切除術（区域切除及び肺葉切除術又は１肺葉を超えるものに限る。）（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	令和6年6月1日	
胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	令和2年1月1日	
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（気管支形成を伴う肺切除）	令和4年4月1日	

胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除）（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	令和2年11月1日	
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超えるもの）（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	令和2年11月1日	
同種死体肺移植術	平成26年4月1日	当院は、移植関係合同委員会より移植施設として選定されています。
生体部分肺移植術	平成27年4月1日	当院は、移植関係合同委員会より移植施設として選定されています。
肺悪性腫瘍及び胸腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法	令和6年6月1日	
食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、小腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、結腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腎（腎盂）腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、尿管腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膀胱腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膣腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）	平成30年4月1日	
胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	平成30年4月1日	
縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	令和2年4月1日	
経皮的冠動脈形成術	平成26年4月1日	
経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）高速回転式アテレクトミーカテーテルによるもの	平成10年4月1日	
経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）エキシマレーザー血管形成用カテーテルによるもの	平成24年4月1日	
経皮的冠動脈ステント留置術	平成26年4月1日	
胸腔鏡下弁形成術	平成30年4月1日	
経カテーテル弁置換術（経心尖大動脈弁置換術及び経皮的大動脈弁置換術）	平成27年10月1日	
経カテーテル弁置換術（経皮的肺動脈弁置換術）	令和4年4月1日	
胸腔鏡下弁置換術	平成30年4月1日	
経皮的僧帽弁クリップ術	平成30年7月1日	
不整脈手術４　左心耳閉鎖術　経カテーテル的手術によるもの	令和3年5月1日	
不整脈手術４　左心耳閉鎖術　胸腔鏡下によるもの	令和4年4月1日	
経皮的中隔心筋焼灼術	令和3年3月1日	
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	平成10年4月1日	
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術（リードレスペースメーカー）	平成30年4月1日	
植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術	平成22年4月1日	
両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術	平成16年7月1日	
植込型徐細動器移植術・植込型徐細動器交換術	平成15年6月1日	
両室ペーシング機能つき植込型徐細動器移植術及び両室ペーシング機能つき植込型徐細動器交換術	平成20年4月1日	
経静脈電極抜去術（レーザーシースを用いるもの）	平成24年4月1日	
大静脈バルーンパンピング法（IABP法）	平成10年4月1日	
経皮的循環補助法（ポンプカテーテルを用いたもの）	平成30年4月1日	
補助人工心臓	平成10年6月1日	
小児用補助人工心臓	平成28年4月1日	
植込型補助人工心臓（非拍動流型）	平成24年4月1日	

同種心移植術	平成18年4月1日	当院は、移植関係合同委員会より移植施設として選定されています。
骨格筋由来細胞シート心表面移植術	平成28年12月1日	当院は、移植関係合同委員会より移植施設として選定されています。
経皮的下肢動脈形成術	令和6年9月1日	
腹腔鏡下リンパ節群郭清術（後腹膜）	令和2年5月1日	
腹腔鏡下リンパ節群郭清術（傍大動脈）	令和2年4月1日	
腹腔鏡下リンパ節群郭清術（側方）	令和4年4月1日	
腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、等	令和2年4月1日	
骨盤内悪性腫瘍及び腹腔内軟部腫瘍ラジオ波焼却療法	令和7年1月1日	
内視鏡的逆流防止粘膜切除術	令和4年4月1日	
腹腔鏡下十二指腸局所切除術（内視鏡処置を併施するもの）	令和2年4月1日	
腹腔鏡下胃切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	令和3年7月1日	
腹腔鏡下噴門側胃切除術（内視鏡手術支援機器を用いる場合）	令和3年7月1日	
腹腔鏡下胃全摘術（内視鏡手術支援機器を用いる場合）	令和3年7月1日	
腹腔鏡下胃縮小術（スリーブ状切除によるもの）	平成30年4月1日	
胃瘻造設術（内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	平成26年4月1日	
バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	平成30年4月1日	
腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術（胆嚢床切除を伴うもの）	令和4年4月1日	
胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うもの	平成28年4月1日	
体外衝撃波胆石破砕術	平成12年11月1日	
腹腔鏡下肝切除術	平成28年4月1日	
腹腔鏡下肝切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	令和5年5月1日	
生体部分肝移植術	平成10年4月1日	当院は、移植関係合同委員会より移植施設として選定されています。
同種死体肝移植術	平成18年4月1日	当院は、移植関係合同委員会より移植施設として選定されています。
体外衝撃波膵石破砕術	平成30年3月1日	
腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	平成30年4月1日	
腹腔鏡下膵中央切除術	令和6年6月1日	
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	平成24年4月1日	
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	令和4年12月1日	
腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術	平成30年7月1日	
腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術	平成30年7月1日	
腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	令和4年12月1日	
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	令和6年6月1日	
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	平成24年4月1日	
内視鏡的小腸ポリープ切除術	令和4年4月1日	
腹腔鏡下直腸切除・切断術（内視鏡手術用支援機器使用）	平成30年5月1日	

腹腔鏡下小切開副腎摘出術	平成20年5月1日	
体外衝撃波腎・尿管結石破砕術	平成3年2月1日	
腹腔鏡下小切開腎部分切除術・腹腔鏡下小切開腎摘出術・腹腔鏡下小切開腎（尿管）悪性腫瘍手術	平成20年5月1日	
腎腫瘍凝固・焼灼術（冷凍凝固によるもの）	平成24年4月1日	
腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器使用）	平成28年4月1日	
腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器使用）	令和4年4月1日	
腹腔鏡下腎盂形成手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	令和2年4月1日	
同種死体腎移植術	平成20年4月1日	当院は（社）日本臓器移植ネットワークに登録された施設です。
生体腎移植術	平成20年4月1日	当院は、移植関係合同委員会より移植施設として選定されています。
膀胱水圧拡張術	平成22年4月1日	
ハンナ型間質性膀胱炎手術	令和4年4月1日	
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	平成24年4月1日	
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器使用）	平成30年10月1日	
腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術	平成26年4月1日	
人工尿道括約筋植込・置換術	平成24年4月1日	
膀胱頚部形成術（膀胱頚部吊上術以外）	令和4年5月1日	
埋没陰茎手術	令和4年5月1日	
陰嚢水腫手術（鼠径部切開によるもの	令和4年5月1日	
精巣内精子採取術	令和4年4月1日	
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器使用）	平成24年4月1日	
腹腔鏡下腟断端挙上術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	令和7年1月1日	
腹腔鏡下仙骨腟固定術	平成28年4月1日	
腹腔鏡下仙骨腟固定術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	令和3年5月1日	
腹腔鏡下腟式子宮全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	平成31年3月1日	
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る）	平成27年3月1日	
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る）（内視鏡手術用支援機器使用）	平成27年3月1日	
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮頚がんに限る）	平成30年6月1日	
腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術	令和4年4月1日	
胎児胸腔・羊水腔シャント術	平成26年4月1日	
無心体双胎焼灼術（一連につき）	令和2年4月1日	
胎児輸血術（一連につき）	令和2年4月1日	
体外式膜型人工肺管理料	令和4年4月1日	
輸血管理料Ｉ	平成25年3月1日	輸血用血液製剤及びアルブミン製剤の一元管理を行っています。
貯血式自己血輸血管理体制加算	平成26年5月1日	学会が認定した自己血輸血責任医師を配置しています。
コーディネート体制充実加算	平成30年4月1日	造血幹細胞移植を実施する際のコーディネート体制が関係学会より認定されています。

自己生体組織接着剤作成術	平成27年10月1日	輸血部門に専任医師、専任臨床検査技師を配置しています。
自己クリオプレシピテート作製術（用手法）	平成30年4月1日	
同種クリオプレシピテート作成術	令和2年4月1日	
人工肛門・人工膀胱造設前処理加算	平成24年4月1日	当該処理に関し経験を有する常勤の医師及び所定の研修を終了し、十分な経験を有する専任の看護師を配置しています。
胃瘻造設時嚥下機能評価加算	平成26年4月1日	当該治療に際し事前に嚥下機能を評価する体制を有しています。
凍結保存同種組織加算	平成28年4月1日	ガイドラインに従い、凍結保存された同種組織を用いた治療を行っています。
レーザー機器加算（医科・歯科）	平成30年4月1日	レーザー機器を用いた手術・治療を実施しています。
顎関節人工関節全置換術	令和7年3月1日	
広範囲顎骨支持型装置埋込手術	平成24年4月1日	当該術式に関し経験を有する常勤の医師及び病理医、検査技師、放射線技師等を配置し、必要な院内検査等を常時実施可能な機器、設備を有しています。
医科点数表第２表第１０部手術の通則の５及び６（歯科点数表第２章第９部手術の通則４を含む。）に掲げる手術に係る施設基準	平成18年4月1日	手術件数を院内掲示しています。 届出術式及び手術実績数は病院概要「保険手術実施一覧」を御参照ください。
麻酔管理料（Ⅰ）	平成8年4月1日	麻酔科を標榜し、常勤の麻酔科標榜医を5名以上配置しています。
麻酔管理料（Ⅱ）	平成22年4月1日	
クラウン・ブリッジ維持管理料	平成8年4月1日	法令に基づき補綴物維持管理を実施しています。
歯科技工士連携加算1及び光学印象歯科技工士連携加算	令和6年6月1日	院内に歯科技工士を配置しています。
ＣＡＤ／ＣＡＭ冠	平成26年11月1日	歯科補綴治療に係る専門の知識及び3年以上の経験を有する歯科医師を1名以上配置し、歯科技工所と連携しています。
歯科技工加算	平成26年11月1日	迅速に有床義歯の修理を行う体制を整備しています。
有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算１及び２	令和2年4月1日	
歯科矯正診断料	平成18年4月1日	当該診断を行うために十分な専用施設・機器を有し、経験を有する専従・専任常勤歯科医師が2名以上、専従する常勤看護師、歯科衛生士を各１名以上配置しています。また、緊急時における医科との連絡体制が整備されています。
顎口腔機能診断料	平成18年4月1日	
放射線治療専任加算	平成14年5月1日	当該治療を行うために必要な機器・設備を有し、放射線治療を専ら担当し必要な経験を有する常勤の医師を2名以上及び放射線技師等を1名以上配置しています。また、放射線治療における機器の精度管理、照射計画の検証、照射計画補助作業等を専ら担当する医学物理士を配置しています。
外来放射線治療加算	平成20年4月1日	
高エネルギー放射線治療	平成26年4月1日	
１回線量増加加算	平成26年4月1日	
強度変調放射線治療（ＩＭＲＴ）	平成20年4月1日	
画像誘導放射線治療（ＩＧＲＴ）	平成22年4月1日	
体外照射呼吸性移動対策加算	平成24年4月1日	
定位放射線治療呼吸性移動対策加算	平成24年4月1日	
定位放射線治療	平成16年4月1日	
画像誘導密封小線源治療加算	平成28年4月1日	
口腔病理診断管理加算２	平成26年4月1日	病理診断を専ら担当する常勤の医師を２名以上配置し、病理標本作製及び病理診断の精度管理体制、剖検室等の設備や必要な機器等を有していたます。
保険医療機関間の連携による病理診断	平成25年11月1日	病理組織迅速顕微鏡検査 において、常勤の病理学的検査を専ら担当する医師が遠隔病理診断（画像診断）・連携による診断を行っています。
保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製	平成19年11月1日	
保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速細胞診断	平成26年6月1日	

デジタル病理画像による病理診断	平成30年4月1日	病理診断を専ら担当する常勤の医師を２名以上配置し、病理標本作製及び病理診断の精度管理体制、剖検室等の設備や必要な機器等を有していたます。
病理診断管理加算２	平成24年4月1日	
悪性腫瘍病理組織標本加算	平成30年4月1日	
看護職員処遇改善評価料72	令和4年11月1日	地域で新型コロナウイルス感染症に係る医療など一定の役割を担う保健医療機関に勤務する保健師、助産師、看護師及び准看護師の賃金を改善するための措置を実施することを評価したものです。
外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）	令和6年6月1日	外来医療又は在宅医療を実施している医療機関（医科）において、勤務する看護職員、薬剤師その他の医療関係職種の賃金の改善するための措置を実施することを評価したものです。
歯科外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）	令和8年6月1日	外来医療又は在宅医療を実施している医療機関（歯科）において、勤務する歯科衛生士、歯科技工士その他の医療関係職種の賃金の改善するための措置を実施することを評価したものです。
入院ベースアップ評価料	令和6年6月1日	病院又は有床診療所において、勤務する看護職員、薬剤師その他の医療関係職種の賃金を改善するための措置を実施することを評価したものです。
入院時食事療養（Ⅰ）	平成4年8月1日	医師の発行する食事箋に基づき管理栄養士が管理する食事を適時、適温で提供し、十分な栄養指導を行っています。